

道徳通信

～未来への道標～

東方中令和元年6月19日発行

1年生

本日の授業者【 長野 先生 】

タイトル「 近くにいた友 」 ねらい「 互いに理解し、高め合う友情の大切さを理解し、一層友達を大切にしようとする態度を育てる」
ば良いか考える 」

○内容や授業の様子

タブレットPCを使い、同じような経験をしたことがないか、グループで意見を出し合った。友情の大切さ、本当の友達とは何なのか、深く考えていた。

○子どもたちの声

言葉遣いに気をつける。互いに信頼することが大切。悪いことは悪いと互いに言い合える関係が大切。自分の気持ちをコントロールすることが大切。

2年生

本日の授業者【 山口 先生 】

タイトル「 和樹の夏祭り 」 ねらい「 地域の祭りの大切さ 」

○内容や授業の様子

地域の夏祭りの大切さをもとに、東方の伝統芸能である輪太鼓を続けていくためにはどうしたらよいかを考える。

(プレゼン・デジタル教科書・ワークシート)

○子どもたちの声

色々な人に輪太鼓の存在を知ってもらおう。(PRする)

伝統を受け継ぐ重要さを考えながら輪太鼓をする。

後の人たちがしっかりと受け継げるよう努力していく。

3年生

本日の授業者【 日高 先生 】

タイトル「 違うんだよ 健司 」 ねらい「 友だち 」

○内容や授業の様子

おせっかいな転校生と僕。最近、元気のない耕平。どうして元気がないか打ちあけられたときの僕の心情を中心に友だちとは何かを考えた。

○子どもたちの声

何でも言い合えるのが友だち。ずっと一緒にいて楽しい人。

注意してくれる人。信頼できる人。

※友だちとは何か真剣に考えていたようです。

校長のつぶやき

今、学校あげて「東方輪太鼓踊り」を継承している子どもたち！

決して簡単ではありません。なのに一生懸命やってくれる。

一人でたたいも迫力もなく、みんながダラダラしていても

物足りない！結構さりげない中でも、友情って存在するのでは？

